

ISO 14000 とは？

近年、商品の安全性が問題となったり、公害をはじめとする地球環境問題が人類の課題となるにおよび、消費者及び利害関係者から企業の社会的責任と商品の品質や安全性、企業活動が自然環境にあたえる影響とその対策に関する情報公開がもためられるようになってきた。これには厳しさを増す環境関連の法規制、環境保全を助長するための経済的政策、並びに持続可能な開発を含む環境問題に対する利害関係者の関心の高まりがある。一方、あらゆる種類の組織は、自らの環境方針及び環境目標を考慮して、自らの活動、商品又はサービスが環境に及ぼす影響を管理することによって、健全な環境パフォーマンス（活動）を達成し、実証する事への関心を高めている。

このような社会情勢を受け、国際標準化機構¹（International Organization for Standardization：通称 ISO）は、1994年に環境関連情報に関して、環境負荷抑止の観点から企業行動を規制する基準（ISO14000）の概略を定めた。そして1996年9月1日に、ISO 14001 環境マネジメントシステムの仕様を制定した。我が国ではこの規格を翻訳し、JIS Q14001 として制定した。なお、この規格はさまざまな地域の全ての種類と規模と組織へ適用できるとしている。（企業ばかりでなく、自治体での取り組みも検討されている。）

ISOでは環境に関する規格を14000シリーズとし、次の規格を定めている。

ISO14000：環境管理システムの手引き

ISO14001：環境管理システム仕様と設計

ISO14010-14020：環境監査

ISO14014：環境レビュー

ISO14015：サイトアセスメント

ISO14031：環境実績評価

ISO14041-14044：ライフサイクルアセスメント（LCA）

ISO14020-14024：エコラベル

ISO14060：製品規格への環境要素総括の指針

※ 新潟県環境衛生研究所

¹ 1949年に設立された世界共通規格、基準などの制定を行う民間組織。本部はスイスのジュネーブにあり22カ国から157人の代表が常任している。ISOへの加盟は各国の標準化機関一つに限られている。日本からはJISC（日本工業標準調査会）が加盟している。

ISO14000に先立ち、商品の品質管理、保証規格としてISO9000が登場し、この規格の認証取得は海外貿易等の国際的な商取引においては必須となっている。この認証を得ることは世界共通の基準で評価を得たことを示し、国際市場でのパスポートを入手したことになるからである。同じくISO14000で認証を得ることは環境管理（公害発生防止等）において世界共通規格で評価を受けたことになる。なおこれらは規格であって、法律ではないことから、認証の取得は任意である。しかし、環境管理システムへの取り組みは地球規模で環境破壊が論じられる現代においては、企業に限らず、組織体の社会的責務であると考えられる。なお、ISO14000の詳細に関しては書店でコーナーができるほど各種解説書が出版されているのでそれらを参考にされたい。なお、入門書としては東京商工会議所環境委員会編：「環境管理と監査」ダイヤモンド社、が比較的わかりやすい。